学校番号	3010

令和5年度 理科 科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	化学基礎（東京書籍）						
副教材等	新課程 リードLightノート化学基礎（数研出版） 新課程二訂版 スクエア最新図説化学（第一学習社） 新課程版 アプローチドリル化学基礎①「物質の構成編」（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りにある事物、現象を科学的に探究していく学問です。中学校までの学習をさらに掘り下げて、原子レベルでの物質の構造や化学反応について学習していきます。毎回の授業でしっかりと学習し、所定の提出物をきちんと提出するなど、自らが主体的に授業に取り組むように心がけましょう。

履修条件

特になし

2 学習の到達目標

・さまざまな化学変化についての基本的な概念や法則を理解し、実験・観察を通して基礎的な知識や技能を修得する。
・自然のあらゆる事象を日常生活や社会と関連付けて科学的に考察し、的確に表現する力を身に付ける。
・化学が物質を対象とする科学であることや、化学が人間生活に果たしている役割を理解し、自然の事物・現象に関心を持つとともに、意欲的に学習に取り組み、主体的に解決しようとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。学んだ内容が関連付けて整理され定着している。実験結果に対する考察が充分であり、その内容を適切に伝達できる。	物質とその変化のなかに問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。授業内容について科学的な捉え方ができる。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。講義式、実験式いずれの授業においても主体的に行動する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	物質の構成	・物質の成分と構成元素 ・原子の構造 ・元素の周期表	a：物質の探究をするために，基本的な概念や原理・法則などを理解している。 b： 物質の性質や構造を調べることにより原理・法則を見出し総合的に考察し表現することができる。 c： 物質の構造・状態・成分に関心をもち，意欲的に物質を探究しようとする。	定期考査 提出物 確認テスト	定期考査 提出物 確認テスト	学習状況 提出物
2	化学結合と物質の変化	・化学結合 ・物質量と化学反応式 ・酸と塩基の性質	a：化学結合と物質の性質に関する基本的な概念や原理・法則などを理解している。 b：物質の化学結合と物質量に着目し、原理・法則を見出し総合的に考察できる。 c：物質の構造や化学反応に関心をもち，意欲的にそれらを探究し科学的態度を身に付けている。	定期考査 提出物 確認テスト	定期考査 提出物 確認テスト	学習状況 提出物
3	物質の変化	・中和滴定 ・酸化還元反応	a：中和滴定の技能を習得し、事物・現象を科学的に探究し理解している。 b：反応の過程や結果及び考察を的確に表現できる。 c：中和反応や酸化還元反応に関心をもち，意欲的にそれらを探究し科学的態度を身に付けている。	定期考査 提出物 確認テスト	定期考査 提出物 確認テスト	学習状況 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度